

---

---

## 2009年度 第2四半期決算説明会資料

---

---



**株式会社 SJI**

2009年11月24日

# 1. 第2四半期決算概況

---

---

## ◎連結

売上高 10,124 百万円 (前年比 22.2 % ↓)

四半期純損失 △461 百万円 (前年比 ー % ↓)

- 国内事業の予想を超えた環境下における開発要員の未アサイン(不稼動)  
海外事業の華深グループのプロジェクト遅延等で対前年比22%減収  
四半期純損失4.6億円

### ◎個別

売上高 2,798 百万円 (前年比 203.7 % ↑)

四半期純損失 △256 百万円 (前年比 ー % ↓)

※ 本資料における第2四半期の数値は、全て累計(2009年4月1日～9月30日)となります。

※ 当社は、2009年7月1日付で純粋持株会社から事業持株会社に移行し、商号を株式会社SJホールディングスから株式会社SJIに変更しております。

# ● 2009年度第2四半期累計実績（予想比／前年比）【連結】

単位：百万円

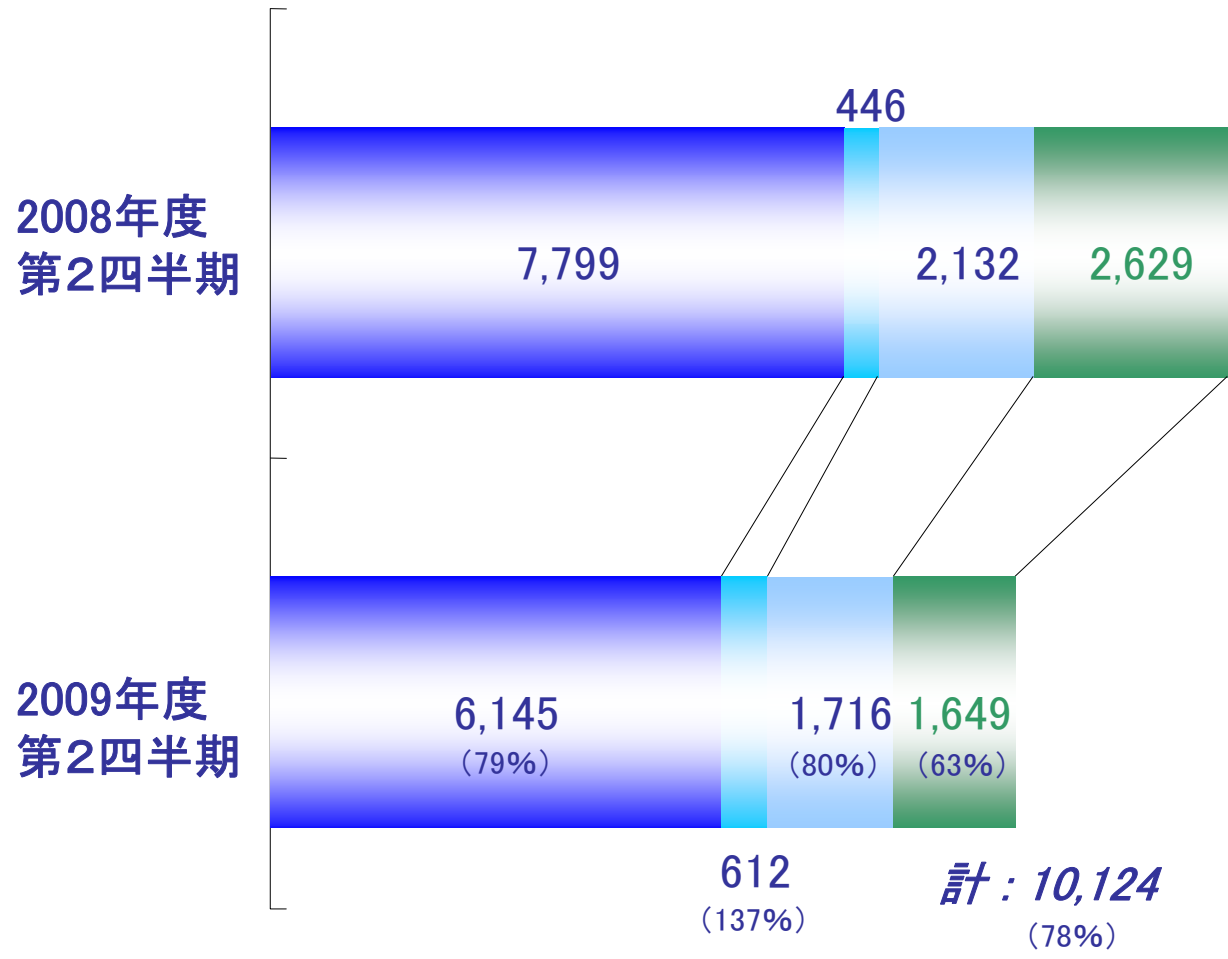
	2009年度第2四半期		期 初 計 画 達 成 率	前 年 比
	数 値	構 成 比		
売 上 高	10,124	100.0%	84.4%	77.8%
営 業 利 益	150	1.5%	23.3%	24.5%
経 常 利 益	△32	△0.3%	—%	—%
四半期純損失	△461	△4.6%	—%	—%

※ 当社は持株会社であり、連結ベースでの経営管理を行っております。単体の数値につきましては別紙『数値編』をご参照下さい。

# ●事業の種類別売上高推移 【連結】

情報サービス事業( ■ システム開発、 ■ ソフトウェア製品、 ■ 情報関連商品)  
■ 石油化学エンジニアリングサービス事業

単位：百万円



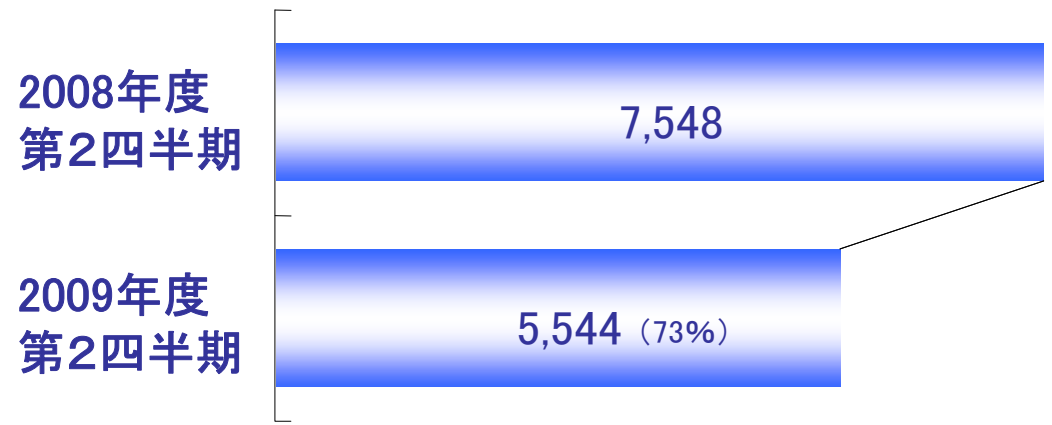
- ① 売上規模は、前第2四半期と比べ2割強の減少
- ② 「ソフトウェア製品」は増加したものの、企業収益の悪化等による日本向け開発の受注低迷を主要因としてメイン事業の「システム開発」が2割減少(前第2四半期比)
- ③ 中国向けの「石油化学エンジニアリングサービス事業」は、プロジェクト遅延の影響等により4割減少(前第2四半期比)

# ●所在地別売上高推移 【連結】

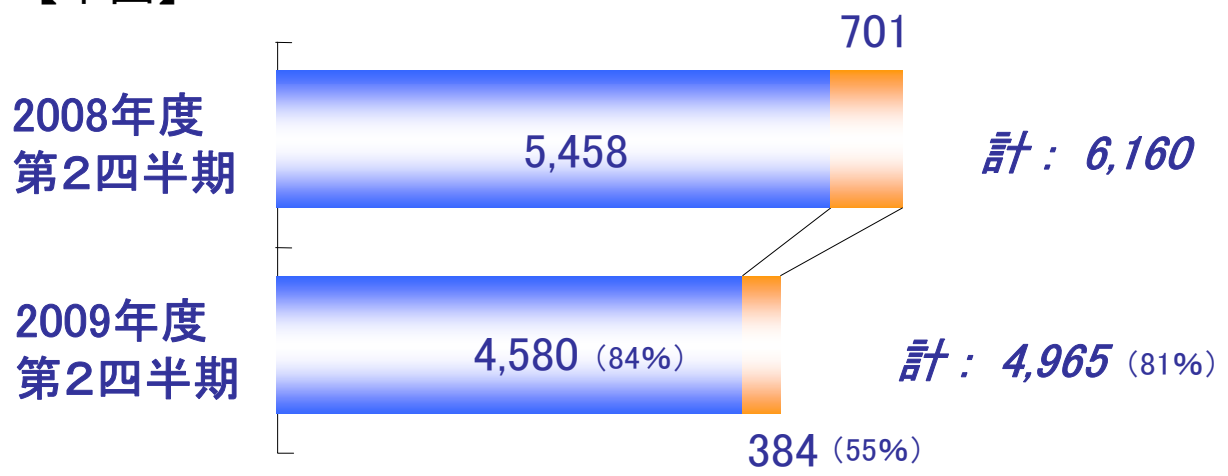
■ 外部顧客に対する売上高    ■ 内部顧客に対する売上高又は振替高

単位：百万円

## 【日本】



## 【中国】



- ① 日本における売上規模は、企業収益悪化、景気回復の見通しの悪さに伴う顧客企業のIT投資先送り等により、前第2四半期から3割弱の減少
- ② 中国における売上規模(外部顧客)は、中国向け開発は堅調であったものの、日本向けオフショア開発が低調で、石油化学エンジニアリングサービスにおいて顧客都合によるプロジェクト遅延が発生した結果、2割弱の減少(前第2四半期比)
- ③ 売上高の日中比は、およそ5:5

# ●所在地別利益高推移 【連結】

■ 営業利益

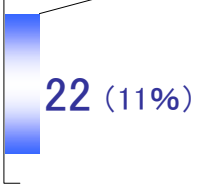
単位:百万円

## 【日本】

2008年度  
第2四半期



2009年度  
第2四半期



## 【中国】

2008年度  
第2四半期



2009年度  
第2四半期



- ① 日本における利益規模は、9割弱と大幅に減少（前第2四半期比）。  
日本向け開発における開発人員の不稼働率の上昇、開発単価の価格下方圧力等が主因
- ② 中国における利益規模は2割強の減少（前第2四半期比）。  
日本向け開発及び石油化学エンジニアリングサービス事業が悪化
- ③ 営業利益の日中比は、およそ4:96

# ● バランスシート概要 【連結】

単位:百万円

		2008年度末		2009年度第2四半期		増減
		数値	構成比	数値	構成比	
資産の部	流動資産	14,941	72.9%	15,598	74.7%	657
	固定資産	5,557	27.1%	5,276	25.3%	△281
	繰延資産	-	-%	-	-%	-
	資産合計	20,499	100.0%	20,875	100.0%	376
負債の部	流動負債	8,845	43.1%	10,104	48.4%	1,258
	固定負債	2,449	11.9%	2,115	10.1%	△334
	負債合計	11,295	55.1%	12,219	58.5%	923
純資産合計		9,203	44.9%	8,656	41.5%	△547
負債純資産合計		20,499	100.0%	20,875	100.0%	376



# ●キャッシュフロー概要 【連結】

単位:百万円

	2008年度 第2四半期	2009年度 第2四半期	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	△668	△107	561
投資活動による キャッシュ・フロー	582	△593	△1,176
財務活動による キャッシュ・フロー	△94	519	613
現金及び現金同等物 四半期末残高	4,523	4,202	△321

## 2. 企業活動概要

---

## ●年間経営目標

**当社を含む国内3社統合実施に伴う重複機能の統合による  
経営の合理化と、迅速かつ機動的な事業展開の推進**

**システム開発事業におけるオフショア／次世代オフショア  
ビジネスの再構成**

**中国向けシステム開発のマーケット拡大による収益力強化  
と成長分野への投資の積極化**

# ●年間経営目標達成のための諸施策と取組み（国内）

## 国内

- 合併による顧客基盤・ネットワーク共有と営業体制の見直し
- 合併による開発力の効率的活用の推進
- 管理部門の統合、グループ内資産の共有化・有効活用実施
- アライアンスの継続的推進によるビジネスチャンスの拡大

### 【第2四半期の取組み】

サービス体制再構築



3社合併を実施。トップセールス／営業の組織改編を実施

稼働率の向上



開発人員のアサインを最優先し、稼働率約5%アップを実現

間接コスト圧縮



給与削減、雇用調整を含む、販管費削減を徹底（3億円弱）

アライアンスの推進



神州数碼グループとの包括的業務・資本提携交渉等を推進

# ● 年間経営目標達成のための諸施策と取組み（海外）

## 海外

- 急激な市場の変化に合致したオフショアビジネスの再構成
- 中国向け開発におけるマーケット拡大（文教、金融、保険等）
- 中国市場における成長分野への投資積極化（リスクを考慮）
- アライアンスの継続的推進によるビジネスチャンスの拡大

### 【第2四半期の取組み】

**オフショア再構成**



日本市場の冷え込みに対応し、中国市場へ人員シフトを実施

**開発マーケット拡大**



電力・通信を中心に中国国内の政府・インフラ系開発が堅調

**新規事業積極化**



神州数碼との交渉等、次のステージを目指す準備を積極推進

**アライアンスの推進**



神州数碼グループとの包括的業務・資本提携交渉等を推進

## ●その他の第2四半期(累計)の取組み及び成果

- 国内の主要事業会社である(株)SJアルピーヌに(株)サン・ジャパンを吸収合併し、商号を(株)SJIに変更
- 当社が上記子会社(株)SJIを吸収合併し、商号を(株)SJIに変更
- 経費削減の取組みと成果(P36ご参照)
- ゴメス・コンサルティング(株)「IRサイトランキング2009」において、新興市場ランキング(総合得点)で16位
- 大和インベスター・リレーションズ(株)「インターネットIRサイトの優秀企業580社」において、優秀企業に選定

## 3. 2009年度の業績見通し

---

---

# ●2009年度 業績見通し 【連結】

単位：百万円

	通 期	
	数 値	前 年 比
売 上 高	26,000	0.8%
営 業 利 益	1,700	17.9%
経 常 利 益	1,650	32.3%
当 期 純 利 益	600	—%

※ 世界的な金融危機の広がりやIT投資の減少からくる当社業績への具体的な影響及び、デジタル・チャイナ・グループとの業務・資本提携が当社の業績に及ぼす影響について見通し難い部分もあり、5月15日発表の通期連結業績予想については、本資料作成時点において精査中であります。今後、変更がある場合は、適時、適切に開示いたします。

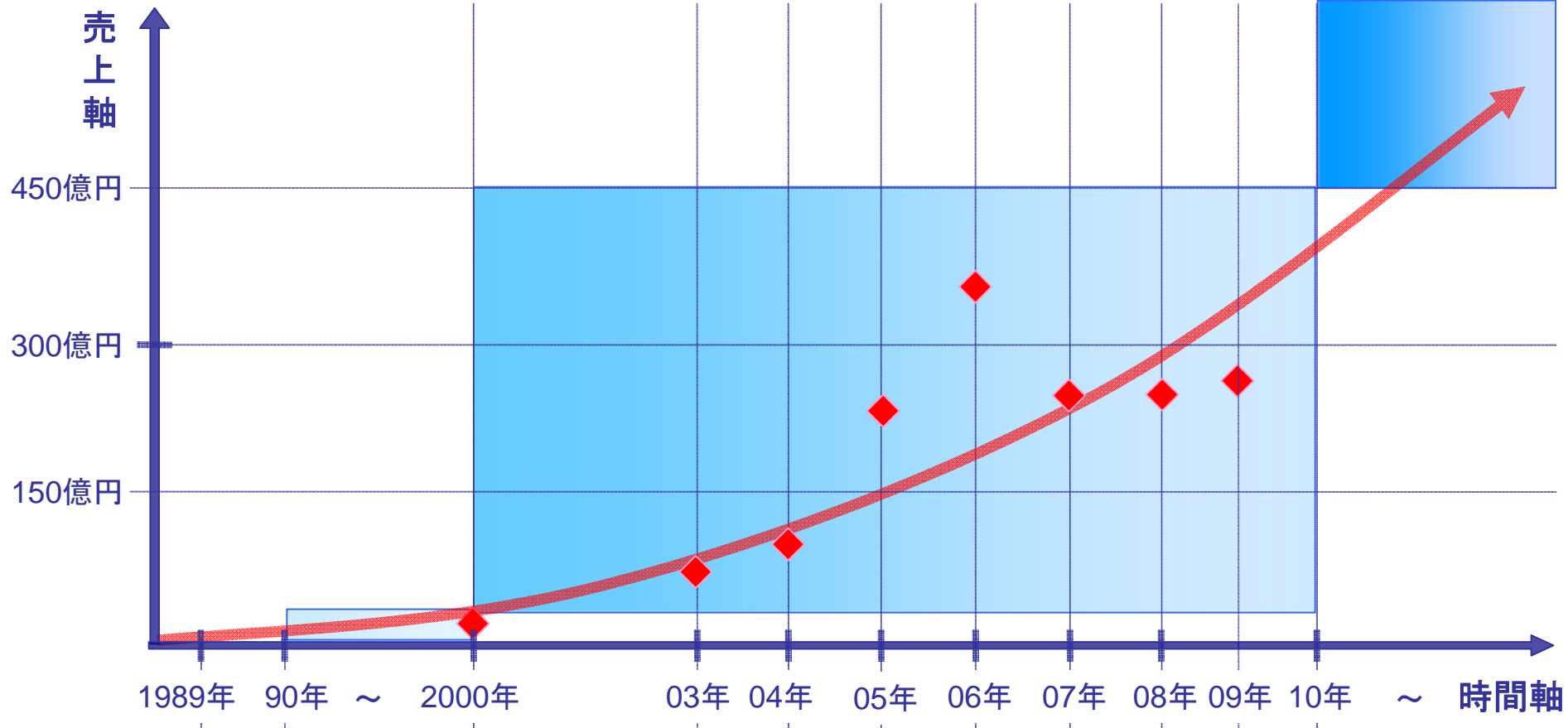


## 4. 神州数碼グループとの提携

---

# ●成長の軌跡

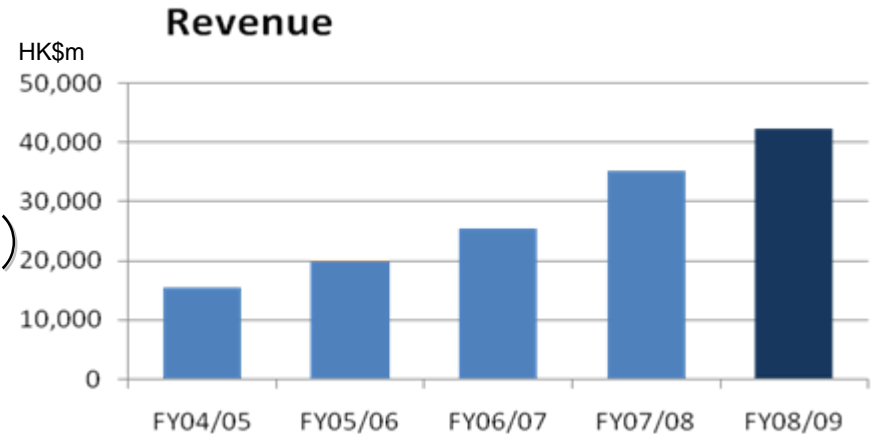
ステージⅠ：ユニークな日中ソフト分散開発ベンダ
  ステージⅡ：ユニークな日中シームレス事業展開ベンダ  
 (分散開発ビジネス+中国現地ビジネス)
   
 ステージⅢ：日中をまたにかけるトップクラスのITサービス企業へ



- イベント
- 会社設立
  - ジャスダック市場上場
  - 北京オリンピック開催
  - 中国子会社設立
  - 株TCCと経営統合
  - 上海万博開催
  - 中国現地SIビジネス参入
  - 純粋持株会社化
  - 国内3社統合/DCと提携

# ●神州数碼（デジタル・チャイナ）グループとは

- 中国最大のITサービス企業
  - 政府、金融、通信、電力に強い
- 売上高約400億HKドル(約4,600億円)
  - 営業利益率約6%
  - 高い成長率 : 年平均25%
  - 高い収益性 : ROE19%
- 従業員数8,400人
  - エンジニア約5,000人
- 中国全土に広がる顧客
  - 政府・主要産業から個人まで
- 中国主要都市に拠点



# ● 提携の概要



DCH : SJIを拠点とし、業務・資本提携通じて日本のITソリューションを中国市場に提供

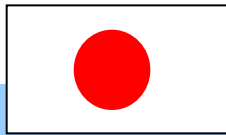
SJI : 包括的日中ITサポートの提供による企業価値の向上

## ●業務提携の目的

### 目的

- 各社の保有する経営資源(人材、技術、ノウハウ、販売・サービスネットワーク及び商品等)を相互利用することで収益力を強化する
- 日中間のITビジネスを促進し、新たな企業価値を創造する

### 状況



金融危機により  
IT投資減少

高品質ソリューションの  
提供、製品のグローバル  
提供・開発コストの低減

市場開拓

オフショア開発  
サポートサービス



世界経済の中で  
急成長する中国  
(政府のバックアップ)

### 理由

DCHは中国最大手のITサービス・製品販売企業

## SJI

### ■ 課題

- 中国での事業拡大
- 資本力の増強
- エンジニアの稼働率の上昇
- オフショア開発事業の増強

### ■ 強み

- 日本企業と中国企業とのネットワーク
- 20年前に業界に先駆けて開始したオフショア開発事業
- 日本での豊富な開発経験

## DCH

### ■ 強み

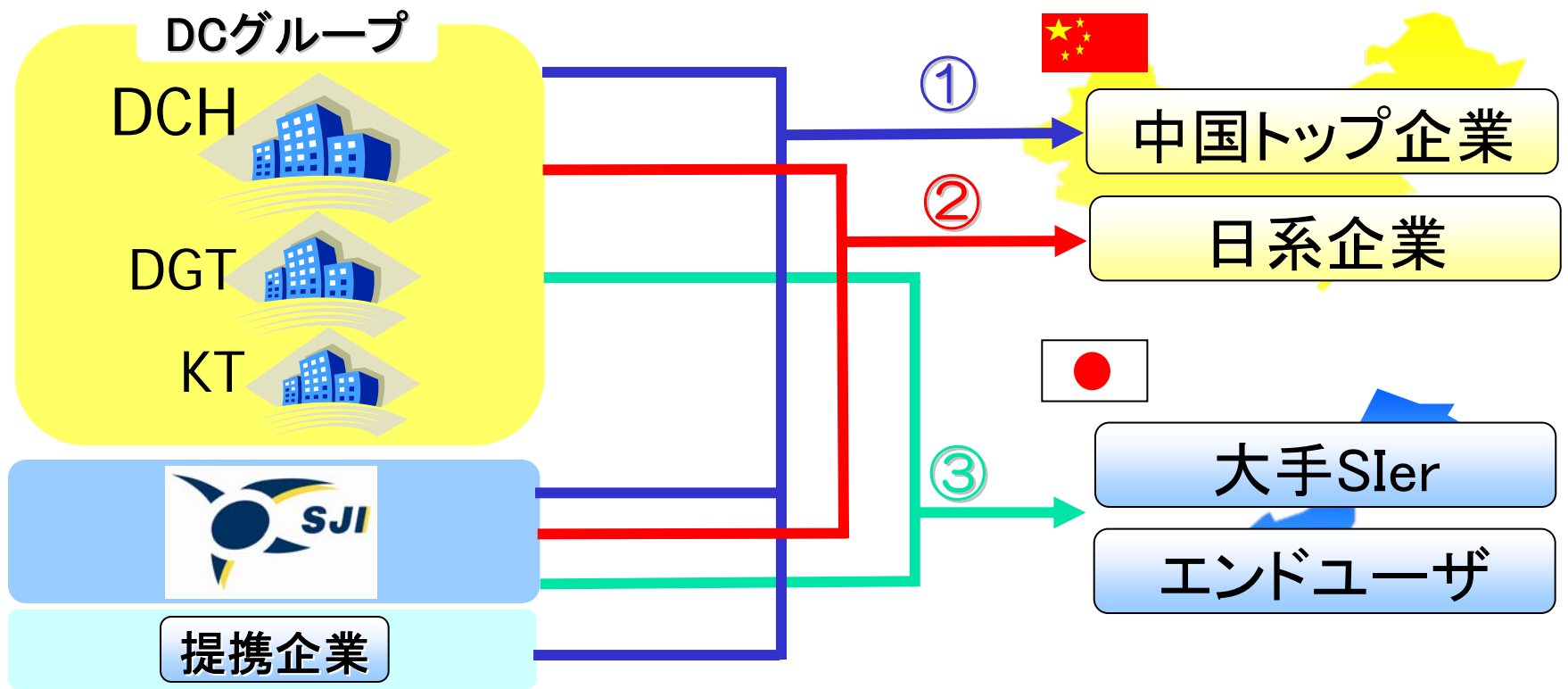
- 中国における中核企業とのネットワーク
- 高い成長性
- 強大な資本力

### ■ 課題

- 日本のITサービス企業とのネットワーク強化
- 優良なITソリューション／パッケージ不足
- 日本企業へのアクセス

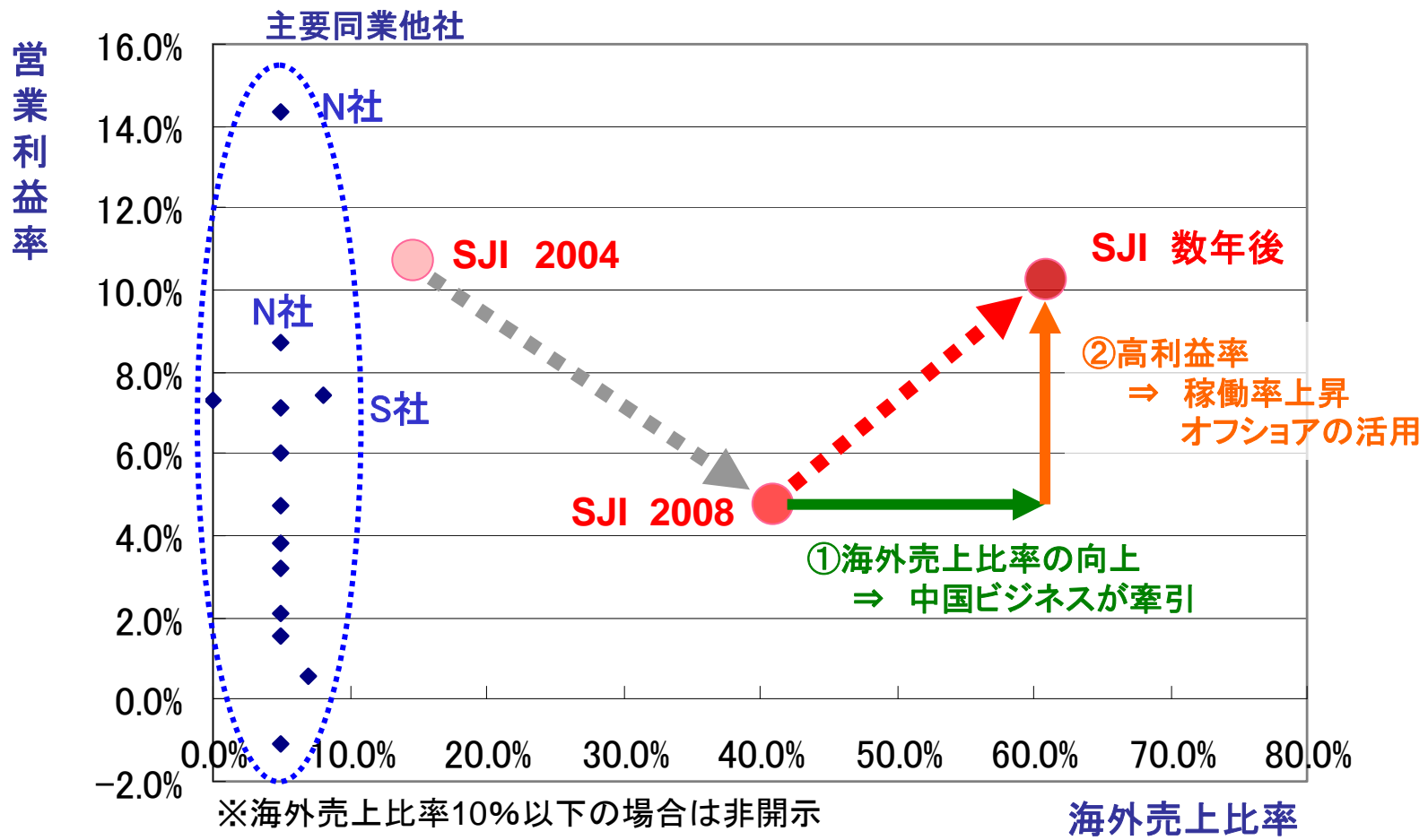
# ●業務提携の内容

- ① 日本国内の優れたシステムソリューション及びパッケージソフトウェアを有する企業と業務・資本提携し、そのソリューションを中国向けにカスタマイズし、DCグループの有する中国トップ顧客企業等中国市場を開拓
- ② DCHの有する中国における販売・サービスネットワーク及び顧客リソースを利用した日系企業へのグローバル・サポート・サービスの提供
- ③ DGTの子会社化を含む、日本向けオフショア開発ビジネス分野の統合・強化・拡大



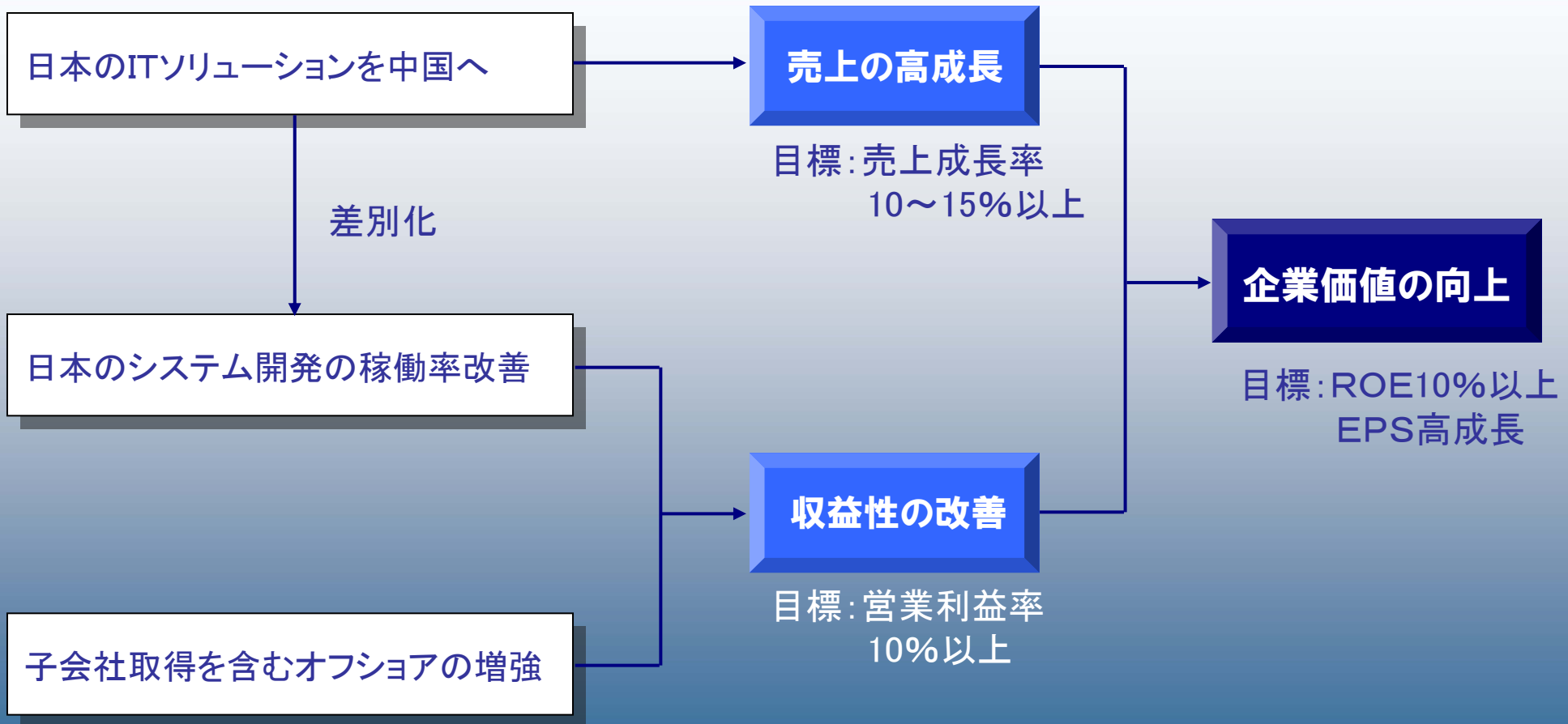
# ●海外売上比率の向上による高利益率の実現

- 高成長を続ける中国を中心とした高い海外比率 ⇨ 高い潜在成長力
- オフショア開発の積極的な活用による利益率の向上





# ●企業価値向上の基本スキーム



# ●資本提携の目的

## 目的

- 財務内容の強化(借入金の返済)
- 中国における事業投資資金、企業買収資金及び事業運転資金

## 概要

第三者割当 新株発行 ※1

第三者割当 新株予約権 ※2



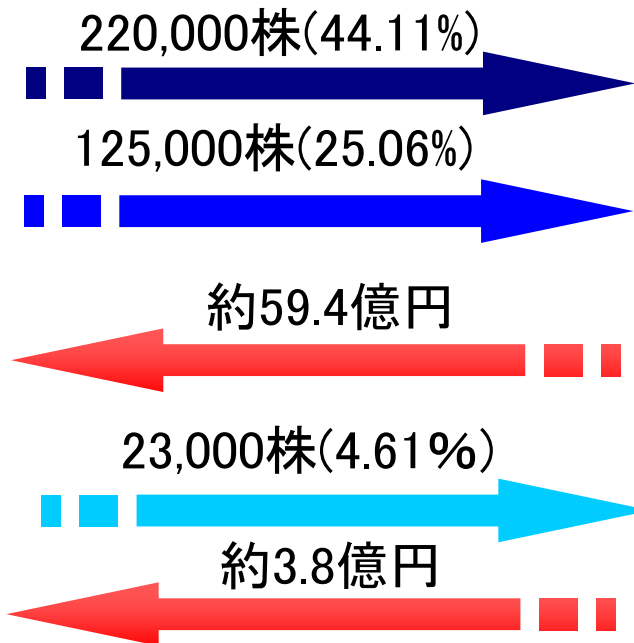
DCS	新株発行	170,000株	
	新株予約権	90,000株	
KTS	新株発行	50,000株	
	新株予約権	35,000株	※3

※1 資金調達が多様化を図る

※2 事業推進にインセンティブを与える

※3 中国における、より積極的な事業展開

# ●資本提携イメージ図



新株発行	DCS	170,000株(34.08%)	新株予約権	DCS	90,000株(18.04%)
	KTS	50,000株(10.02%)		KTS	35,000株(7.02%)

※( )は、資料作成日時点の発行済株式総数に占める割合です。

# ●株主構成の変化

平成21年11月4日			増資、処分、予約権の行使後	
1	李 堅	10.13%	Digital China Software (BVI) Limited	30.81%
2	株式会社SRAホールディングス	5.51%	KING TECH SERVICE HK LIMITED	10.07%
3	琴井 啓文	5.50%	李 堅	5.99%
4	エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社	5.41%	株式会社SRAホールディングス	5.98%
5	イーピーエス株式会社	4.98%	琴井 啓文	3.25%
6	株式会社ブロードリーフ	4.98%	エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社	3.20%
7	周 誠	2.41%	イーピーエス株式会社	2.95%
8	ソフトバンク・テクノロジー株式会社	1.68%	株式会社ブロードリーフ	2.95%
9	SJI従業員持株会	1.57%	周 誠	1.43%
10	ピクテサブジャパニーズ レジデンツ	1.50%	ソフトバンク・テクノロジー株式会社	1.00%

デジタル・チャイナを中国側の窓口として、高品質な日本のITソリューションを中国市場に提供し、更なる事業の拡大を目指します。

SJIは本提携により、中国に進出する日本企業に対し、包括的日中ITサポートを提供することにより、顧客満足度を高め、自らの企業価値向上を目指します。

SJI及びデジタル・チャイナは、本提携により日本の優れたITソリューションを中国に提供し、IT事業分野における“日中新時代”の先駆けとして、日本及び中国のIT事業発展に貢献します。

## ●今後の見通し等の記載に関するご注意

本資料の記載事項は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。  
今後の業績につきましては、様々な要因によって予想数値と異なる可能性がありますので、あらかじめご承知おきください。

# 【別紙】 数值編

---

# ●2009年度第2四半期実績①前年比 【連結】

単位:百万円

	2008年度第2四半期		2009年度第2四半期		前年比
	数 値	構 成 比	数 値	構 成 比	
売 上 高	13,006	100.0%	10,124	100.0%	77.8%
営 業 利 益	612	4.7%	150	1.5%	24.5%
経 常 利 益	660	5.1%	△32	△0.3%	-%
特 別 利 益	373	2.9%	17	0.2%	4.6%
特 別 損 失	1	0.0%	58	0.6%	4629.1%
四半期純利益	347	2.7%	△461	△4.6%	-%



# ●2009年度第2四半期実績①前年比 【単体】

単位：百万円

	2008年度第2四半期		2009年度第2四半期		前年比
	数 値	構 成 比	数 値	構 成 比	
売 上 高	921	100.0%	2,798	100.0%	203.7%
営 業 利 益	589	64.0%	△26	△0.9%	-%
経 常 利 益	522	56.7%	△16	△0.6%	-%
特 別 利 益	1	0.2%	106	3.8%	5540.7%
特 別 損 失	-	-%	255	9.1%	-%
四半期純利益	411	44.6%	△256	△9.2%	-%

※ 当社は、2009年7月1日付で純粋持株会社から事業持株会社に移行しております。

# ●2009年度第2四半期実績②予想比 【連結】

単位：百万円

	期 初 予 想 値		2009年度第2四半期		達 成 率
	数 値	構 成 比	数 値	構 成 比	
売 上 高	12,000	100.0%	10,124	100.0%	84.4%
営 業 利 益	644	5.4%	150	1.5%	23.3%
経 常 利 益	626	5.2%	△32	△0.3%	-%
特 別 利 益	-	-%	17	0.2%	-%
特 別 損 失	-	-%	58	0.6%	-%
四半期純利益	211	1.8%	△461	△4.6%	-%

# ●2009年度第2四半期実績②予想比 【単体】

単位:百万円

	期 初 予 想 値		2009年度第2四半期		達 成 率
	数 値	構 成 比	数 値	構 成 比	
売 上 高	3,601	100.0%	2,798	100.0%	77.7%
営 業 利 益	297	8.3%	△26	△0.9%	-%
経 常 利 益	259	7.2%	△16	△0.6%	-%
特 別 利 益	-	-%	106	3.8%	-%
特 別 損 失	-	-%	255	9.1%	-%
四半期純利益	188	5.2%	△256	△9.2%	-%

# ●販管費実績 【連結】

単位：百万円

	2008年度第2四半期		2009年度第2四半期		前年比
	数 値	構 成 比	数 値	構 成 比	
給 与 手 当	463	24.0%	438	26.5%	94.6%
研 究 開 発 費	28	1.5%	24	1.5%	87.0%
旅 費 交 通 費	77	4.0%	67	4.1%	87.7%
そ の 他	1,361	70.5%	1,125	67.9%	82.7%
<b>販 管 費 合 計</b>	<b>1,930</b>	<b>100.0%</b>	<b>1,656</b>	<b>100.0%</b>	<b>85.8%</b>

# ● バランスシート概要 【連結】

単位:百万円

		2008年度末		2009年度第2四半期		増減
		数値	構成比	数値	構成比	
資産の部	流動資産	14,941	72.9%	15,598	74.7%	657
	固定資産	5,557	27.1%	5,276	25.3%	△281
	繰延資産	-	-%	-	-%	-
	資産合計	20,499	100.0%	20,875	100.0%	376
負債の部	流動負債	8,845	43.1%	10,104	48.4%	1,258
	固定負債	2,449	11.9%	2,115	10.1%	△334
	負債合計	11,295	55.1%	12,219	58.5%	923
純資産合計		9,203	44.9%	8,656	41.5%	△547
負債純資産合計		20,499	100.0%	20,875	100.0%	376

# ● バランスシート概要 【単体】

単位:百万円

		2008年度末		2009年度第2四半期		増減	
		数	値	構成比	数		値
資産の部	流動資産	4,159	31.2%	9,199	60.0%	5,039	
	固定資産	9,166	68.8%	6,127	40.0%	△3,038	
	繰延資産	-	-%	-	-%	-	
	資産合計	13,325	100.0%	15,326	100.0%	2,000	
負債の部	流動負債	4,806	36.1%	7,143	46.6%	2,336	
	固定負債	2,078	15.6%	2,105	13.7%	27	
	負債合計	6,885	51.7%	9,249	60.3%	2,363	
純資産合計		6,440	48.3%	6,077	39.7%	△362	
負債純資産合計		13,325	100.0%	15,326	100.0%	2,000	

# ●キャッシュフロー概要 【連結】

単位:百万円

	2008年度 第2四半期	2009年度 第2四半期	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	△668	△107	561
投資活動による キャッシュ・フロー	582	△593	△1,176
財務活動による キャッシュ・フロー	△94	519	613
現金及び現金同等物 四半期末残高	4,523	4,202	△321